



# 保育的発達論のはじまり

個人を尊重しつつ、  
「つながり」を育むいとなみへ

長い間、「発達」は保育の目標だった。現代も、保育にとって「発達」は大切な視点だが、「発達」を受けとめる社会のほうが、だいぶ変わってきた。「つながり」がほどけた孤立した子育ては、いやおうなく発達を「うちの子」の能力に向かわせる。不透明感のある未来がちらつき、保育も子ども個人を強くするしかないのかと、悩んでいるようにみえる。しかし、社会と子どもの間に立って、子どもの視点を代弁し、社会のあり方を問うてきたのが保育だ。保育の可能性と魅力は、いつも新しい「つながり」をつくりだす実践にある。個人を尊重しつつ、個人をこえるいとなみへ。保育がその真価を発揮するための、保育的発達論のはじまり――。



●おもな目次

序 「個人」を尊重しつつ、「個人」をこえるいとなみへ

- 1 子どもの「主体性」とは何か  
子どもはどう「自己決定」しているか／保育のなかでとらえる主体性
- 2 子どもの「主体性」はどう育つか  
人間の赤ちゃんが「未熟」であることの意味／してもらい、する、してあげる、させてあげる
- 3 「子ども観」「発達観」の変遷と私たち  
子ども観をさかのぼる／「発達」と社会の歩み／「発達」と社会のいま
- 4 発達をみる目をひろげる――イヤイヤ期とブラブラ期  
「年齢」と発達／「参加」の視点からみる発達観／つながりアウトカムとしての「ブラブラ」
- 5 「保育」と「発達」を結びなおす  
つながりを育むいとなみ／保育の「あそび」とは何か／保育の公共性／「信頼」の中間共同体



●A5判並製・248頁 ●定価(本体2,000円+税)  
●ISBN978-4-89464-268-3



**川田 学** (かわた・まなぶ)  
1973年東京都生まれ。北海道大学大学院教育学研究院准教授。博士(心理学)。専門は発達心理学、保育研究。近年は、沖縄地方や瀬戸内地方など各地の保育現場をまわり、保育と地域との関係史を学んでいる。

ひとなる書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-17-13  
TEL 03-3811-1372 FAX 03-3811-1383

ホームページ <http://hitonarushobo.jp>

\*小社出版物のお求めは、この注文カードにて最寄の書店または小社へどうぞ

ご注文日 年 月 日

注文カード	書店印	ひとなる書房 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-17-13 TEL 03-3811-1372 FAX 03-3811-1383		
	書名	保育的発達論のはじまり 個人を尊重しつつ、「つながり」を育むいとなみへ ◎川田 学：著 A5判並製・248頁 定価(本体2,000円+税)	ISBN978-4-89464-268-3	冊
	お名前	お電話 ( )		
	ご担当 ( ) 様	ご住所 〒		